

阿部竜之介 『Pepeの視点』 - 1ヶ月、オーケストラをお休みします

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

October / 14 / 2022 # 115

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

INDEX

[1] 旬な話題、気になる話題

『1ヶ月、オーケストラをお休みします』

[2] Pepeのひとりごと

『今の心配事』

[3] おすすめ動画

『Sulek: Sonata for Trombone and Piano』

『[PMF 2018] Open Master Class II -Trombone- [PMF Connects 2020]』

[4] 演奏のヒント！

『息の吸い方』

[5] 編集後記

[1] 旬な話題、気になる話題

『1ヶ月、オーケストラをお休みします』

個人的なことなのですが、来月、11月いっぱいにはオーケストラ

(大阪交響楽団)を休団することにしました。

理由は、イギリスで勉強ができる機会を持てるようになったからです。

1ヶ月の休団となるのですが、実際にイギリスに行くのは1週間

足らずなんです……。でも、オーケストラの決まりで休団の最短期間が

1ヶ月のため、11月いっぱいはお休みすることになります。

11月は、大阪交響楽団のコンサートに来てもらっても僕はいませんよ。 ;)

こういう世界情勢だし、今までにないくらいな円安で大変な状況ではありますが、今からイギリスに行くのが楽しみです！ :D

休団している間も活発に活動はしていますので、何かあれば声をかけてくださいね～！

今までにない自由に動けるようになっています。 ;)

[2] Pepeのひとりごと

『今の心配事』

あと数週間でイギリスに行きます。

今からとても楽しみなのですが、一方で、少し心配なことも・・・。

何かというと、言葉。

みなさんご存知のように、イギリスでは英語が話されています。日常会話程度の英語なら大丈夫なのですが、気になっているのは「イギリス英語」という点・・・。

いや、これも日常会話の中では少々わからなくたって大丈夫なのですが、音楽用語でのアメリカ英語とイギリス英語の違いなんです。

日本で勉強する、そして一般的に話されている英語はアメリカ英語です。もちろん、音楽の世界で使われる英語も、やっぱりアメリカ英語。

例えば音楽用語でいうと、四分音符。

アメリカ英語では「Quarter note」といいますが、イギリス英語では「Crotchet」というんです。

こういう単語の違いには全くと言っていいほど慣れていないので、その点では少々ドキドキしています。

でも、せっかくの機会なので、イギリスではいろいろな経験を通して成長したいと思っています！ ;)

[3] おすすめ動画

『Sulek: Sonata for Trombone and Piano』

https://www.youtube.com/watch?v=ce57_kCXZg4

今月の1つ目の動画は、Chicago Symphony Orchestraの金管の代名詞

とも言える存在のJay Friedman氏のソコの演奏の動画です。
ソコのCDも出していますが、なかなか聴く機会のない氏のソコの演奏をこうして聴くことができるのは、とても貴重だと思いますよ。

若いエネルギッシュな演奏に刺激を受けることもとても大切ですが、
こうしてこれまで歴史を作ってきた人の「今現在」の演奏に接することもまた大切なことだと改めて感じました。

『[PMF 2018] Open Master Class II -Trombone- [PMF Connects 2020]』
https://www.youtube.com/watch?v=vTB_swYIBlc&list=FLMnqqdLPBhh36yGuKu08PSg&index=5

2つ目の動画は、2018年のPMFでのマスタークラス（Trombone）の動画です。

講師は、ベルリン・フィルのJesper Busk Sorensen氏です。

彼のレッスンはとてもいい感じで、僕も自分自身で再確認することもたくさんあって、この動画を見てよかったです。 ;)
この動画では通訳もあるので、英語に自信のない人もぜひ見てみてくださいね！

[4] 演奏のヒント！

『息の吸い方』

今月は、息の吸い方について。

今月の2つ目の動画のレッスンの中でも言っていましたが、あの動画のように、立てた指を口に当てて息を吸ってみてください。

これ、口の中の容積が狭かったり喉がちゃんと開いていなかったりした場合には、息を吸ったときに高い音（「シーツ」というような）がします。口の中にスペースを取って深く息を吸うと、「フォー」というような高くない音がします（できれば、両方試してみてください）。

このような吸い方をするほうが、同じ時間でもたくさんの息が吸えているし、体もリラックスできている状態なんだと思います。あと、この吸い方のほうが、ブレスの音がしにくいです。

やっぱり、演奏中のブレスの音は極力小さい方がいいと思います。この方法での練習、まだやったことがない人はぜひやってみてくださいね～。きっと多くの人の役に立つと思います。 ;)

編集後記

先月からずっと忙しい日々を過ごしています。
幸せなことなのですが、目の前のことに集中して過ごしている
ような感じです。

畑に行っているいろいろとやりたいこともあるのですが、なかなか
そういう時間も作れなくて残念です・・・。

でも、演奏を仕事としてやっている充実感はもちろん毎日あるので、
いろいろなことに感謝をしながら生きていっています。 :)

11月の頭にイギリスに行くのですが、こういうご時世のため、飛行機は
遠回りをしてイギリスへ飛びます。
なので、通常より2~3時間フライト時間も長くなってます（涙）。

今忙しく毎日を過ごしているので、飛行機の中ではの〜んびり
過ごそうと思っています。
そのときに長〜いフライト時間を満喫できるように、今は
必死でがんばります！ :D

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

info@pepeabe.com

©阿部竜之介 『Pepeの視点』

のバックナンバー、配信停止はこちら

<http://www.mag2.com/m/0001601194.html>